

出会い系11億円所得隠し

最大規模の運営グループ

全国最大規模といわれる出会い系サイト運営会社140社のグループが国税当局の一斉調査を受け、2012年までの6年間で約11億円の所得隠しを指摘されたことがわかった。140社はいずれも、東京・神田の塗料会社の社長(65)が実質的に経営。その活動拠点に弁護士事務所を開設させるなどして、「隠れみの」にしていたという。

弁護士事務所と同居「外からガード」

子ら数人と出会い系サイト運営会社を次々と立ち上げた。一時は1000人を超える男性アルバイトが女性を装って利用者を募り、料金を振り込ませるなどして30億円超を売り上げていたという。「異性と会えない」などの苦情が相次ぐと、1〜2年でサイトを閉鎖。会社の所在地を全国各地に移した。弁護士はサイトの運営

に直接関与はしていなかったというが、サイトの資金を管理する女性事務員らが働いていたのは、弁護士事務所の看板を掲げた奥の「隠し部屋」のような場所だった。

サイトの利用者から振り込まれる資金を一括して管理していた。税務調査を受けた2012年、このフロアには2人の弁護士が事務所を間借りしていたという。

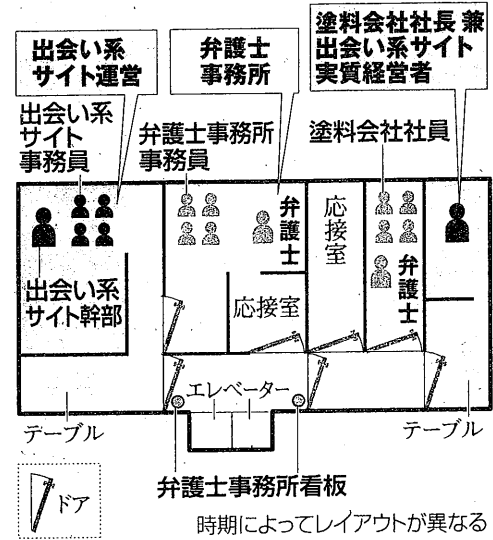
東京、仙台、関東信越、名古屋、高松、広島、福岡の各国税局の税務調査を受けたのは、ラポーアഞ്セルリック(東京都千代田区)▽ベイライフ(岡山県津山市)など140社。うち約40社が所得隠しを指摘されたとみられる。

JR神田駅から徒歩3分のオフィスビルの9階。東京・神田の塗料会社社長が、株式の大半を所有していた別の塗料会社がフロア全体を借りていた。

もう1人の男性弁護士(65)は「そういうもの(出会い系サイト)と関係なく仕事をしている」と、サイト業務への関与を否定した。

関係者によると、塗料会社社長は07年ごろから、息

出会い系サイト運営グループ(□)と弁護士が同居していたフロアの見取り図



約40社が隠した所得は約11億円で、重加算税などを含む追徴税額は約3億円。しかし、塗料会社社長らは税務調査が終了する直前、約40社の社長を、知人の千葉県市原市の元建設会社社長(64)に変更。それぞれの会社は修正申告したものの、納税はしていない。

の弁護士と和解交渉をした。ただ、サイトの運営には関わっていないし、相談を受けたこともない」と説明。入居の経緯については、社長に請われて別の事務所から転居してきたとい、家賃は「普通に払っていた」としている。

(村上潤治、木原貴之)